

第3問

次の〔決算整理事項等〕にもとづいて、答案用紙の精算表を作成しなさい。なお、消費税の仮受け・仮払いは、売上取引・仕入取引についてのみ行うものとする。会計期間はX7年4月1日からX8年3月31日までの1年間である。

〔決算整理事項等〕

1. 売掛金 ¥ 2,500 が普通預金口座に振り込まれていたが、この取引の記帳がまだ行われていない。
2. 仮払金は、従業員の出張に際して渡した旅費交通費概算額である。X8年3月31日に出張から帰った従業員から旅費交通費 ¥ 12,000 の報告を受け、残額は現金で返納を受けた。
3. 現金過不足の原因を調べたところ、郵便切手代（郵送に使用済み）¥ 6,000 の記入漏れが判明したが、これ以外は不明のため、雑損または雑益で処理する。
4. 当座預金勘定の貸方残高全額を当座借越勘定に振り替える。なお、当社は取引銀行との間で ¥ 100,000 を借越限度額とする当座借越契約を締結している。
5. 受取手形と売掛金の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法で設定する。
6. 期末商品棚卸高は ¥ 187,000 である。なお、売上原価の計算には仕入勘定を用いる。
7. 建物および備品について、定額法による減価償却を行う。なお、建物および備品の期中取得はない。
建物：残存価額ゼロ 耐用年数25年
備品：残存価額ゼロ 耐用年数6年
8. 借入金は、期間1年、年利率2%、利息は借入時に支払う条件で、X7年11月1日に借り入れたものである。そこで、利息の前払分を月割で適切に処理する。
9. 消費税の処理（税抜方式）を行う。
10. 税引前の利益に対して30%の法人税、住民税及び事業税を計上する。なお、中間納付は行っていない。